

# 令和2年度 第2回川越市上下水道事業経営審議会 追加ご意見等に対する回答

## 報告事項(1)令和元年度川越市上下水道ビジョン進行管理について

意見番号	資料該当箇所	意見・質問等	回答	意見者	関係課
1	・シート4 自己水源(地下水)と 泉水の活用	【質問】 この項目は、泉水が潤沢に供給されていることを前提にしていると思うが、渇水となった場合、自己水源の確保について、上下水道局の責務として、具体的にどのような対策を考えているのか説明してほしい。	渇水時に泉水受水量の削減が実施された場合には、自己水源である井戸の取水量を増量して対応いたします。 このため、泉水削減時においても安定供給が確保されるよう、渇水時を想定したシミュレーションを実施し、配水ポンプ等の運転操作方法の検討を行っております。	佐野副会長	事業計画課 上下水道管理センター
2	・シート7 各種の環境対策 ・シート8 省エネルギー対策	【意見】 菅総理の発言(2050年までに、温室効果ガスの排出を実質ゼロにする)を考えると、自治体においても排出量ゼロを目指さないとけないと思うので、将来の事業計画の中に、「CO <sub>2</sub> の削減」を掲げることも検討してほしい。	「CO <sub>2</sub> の削減」につきましては、国、県の動向や本市の「川越市地球温暖化対策実行計画」の内容等を踏まえつつ、目標設定を含め、5年毎の見直し時期に検討を行いたいと考えております。	佐野副会長	総務企画課 財務課 事業計画課 上下水道管理センター
3	・シート14 震災時の対応	【意見】 給水タンクの設置やマンホールトイレの導入について、イニシアチブをとり、具体的な対策を講じる所属を明確にしてほしい。また、展開するにあたり、具体的な目標数や必要数を掲げることを検討してほしい。	局としましては、市の防災・震災事業の一つとして防災危機管理室が主体となり進める事業と考えておりますので、今後も防災危機管理室と連携し協議を進めてまいります。	佐野副会長	総務企画課 事業計画課
4	全体	【質問】 5年、10年と中長期的にビジョンにおける目標設定がされている。このビジョンは、昨年策定され、今年のコロナ禍は想定されておらず、財政的にも予測されていない現状だと思う。今後、財政的に厳しい場合、目標の変更はあるのか。また、今後、予測不可能な状況になった場合など、課題はあるのか。	コロナ禍での新しい生活様式や社会状況の変化により目標値と実績値が大きく乖離した場合には、令和5年度の間中期に目標値の見直しを行う必要があると考えております。	吉野委員	事業計画課
5	・シート1 水質管理体制の強化 ・シート16 広域連携	【質問】 事業の効率化、合理化のために広域化は必要だと思う。しかし、残留塩素の低減と広域化を両立させるためには、泉水の高度処理が必要不可欠のように思われる。県には、このような計画はあるのか。	埼玉県営水道では、5箇所ある浄水場のうち平成22年度より新三郷浄水場が高度浄水処理を実施しております。また、今後の方針として、残る4場にも同処理を導入することが発表され、本市への供給元である大久保、吉見両浄水場については、令和9年度の稼働を目指していると考えております。	山崎委員	事業計画課 上下水道管理センター
6	・施策方針「循環」 ・シート7 各種の環境対策 ・シート8 省エネルギー対策	【意見】 全体として、「循環」の評価が低い。短期間で対応しにくいものが多いと思われる。一方、川越市の現状を理解していないが、川越市所管業務の中で、上下水道のエネルギー起源CO <sub>2</sub> の割合は高いのではないかと想像しており、削減に向けた取組を図る必要がある。	上下水道局のエネルギー起源CO <sub>2</sub> は、川越市所管業務の約6%を占めており、これまでも、太陽光発電システムの設置など、エネルギー消費量を削減する取組を実施してきました。今後も、上下水道施設における高効率機器の導入を検討してまいります。また、国、県の動向や「川越市地球温暖化対策実行計画」の内容等を踏まえつつ、CO <sub>2</sub> の削減に向けた取組を進めてまいります。	山崎委員	総務企画課 財務課 事業計画課 上下水道管理センター
7	・シート14 震災時の対応	【質問】 防災拠点のトイレ洗浄水には多くの水量が必要である。一方、水質は飲用に適した水でなくてもよい。防災拠点での雨水貯留タンクの設置など計画はあるのか。	防災拠点への雨水貯留タンクの設置につきましては、現時点で未定ですが、ご指摘の点について防災危機管理室と協議を進めてまいります。	山崎委員	総務企画課 事業計画課
8	全体	【意見】 要望事項として、令和2年度の報告資料には、「R1実績値、R2目標値、R2実績値」の様式で、評価指標を報告していただきたい。	頂いたご意見を参考に、次年度以降は過去の実績値を併記していくかたの様式を検討してまいります。	正木委員	事業計画課
9	・シート10 生活排水処理の適正化	【質問】 未接続者2,800件のうち、令和元年度は何件接続できたのか。「生活排水処理基本計画」では、令和7年度までに100%となっているが、早期に改善する必要があると考える。	令和元年度における下水道管への新規接続件数は161件です。 今後も接続率の向上が図られるよう、積極的に働きかけてまいります。	今野委員	下水道課
10	・シート14 震災時の対応	【意見】 給水タンク、マンホールトイレについては、早急に対応していただきたい。上下水道局からも強く防災危機管理室に検討するように委員からも意見が寄せられていることなど伝えて、検討するようにしていただきたい。	当審議会でもいただいたご意見としまして、防災危機管理室と協議を進めてまいります。	今野委員	総務企画課 事業計画課
11	・シート16 広域連携	【意見】 広域連携に関しては、デメリットも十分に考えられるので、財源的にも大変になる場合がある。慎重に検討する必要があると考える。	水道の広域連携につきましては、事業規模や地理的要件など多くの課題が見つかっております。 今後も引き続き、埼玉県や県内水道事業者と共に、課題について検討してまいりたいと考えております。	今野委員	総務企画課

報告事項(2)今後の不明水対策について

意見番号	資料該当箇所	質問、意見等	回答	意見者	関係課
1	3頁 不明水対策の進め方 ④対策の実施について	【質問】 現在は塩ビ管を布設しているとのことだが、30～50年経過した際に、接着が弱くなることはないのか。	これまでのところ、不明水調査において、塩ビ管布設箇所では大きな侵入水は確認されておりませんが、今後も流量計データの分析など、管の状況把握に努めてまいります。	山崎委員	事業計画課 下水道課
2	全体	【意見】 不明水対策については、寺尾地域でもマンホールの吹き出しやトイレが使えない問題など9月議会の一般質問でも取り上げられた。なかなか地道で大変な事業だと思うが、対策を講じていただきたい。	不明水対策は雨量の影響を受けやすく、成果が表れにくい事業ですが、トイレが使えない等の改善は早期に行ってまいります。	今野委員	事業計画課